

ダイバーシティ & インクルージョン

多様であることに効果を生み出す理論や手法、アイデア

2015年2月28日（土）14：00～17：00
南山大学名古屋キャンパスD棟5階 D51教室

参加
無料



講師紹介

Dr. Deatrus LaCour氏（NTLメンバー）
Deat氏は20年以上の経験をもつ組織開発コンサルタントであり、米国NTLInstituteのメンバーです。NTLで組織開発のコースを担当するとともに、アメリカン大学大学院組織開発プログラムの客員教授として教えています。
人や組織の強みに焦点づけて潜在力を引き出すアプローチである、AIの実践者でもあります。2014年には著書「ダイバーシティ・トレーニング：強みを広げるか、欠損に焦点づけるか」を出版しています。

最近、日本でも「ダイバーシティ・マネジメント」が注目されています。ダイバーシティとは「多様性」と訳され、性別、人種、国籍、障がいの有無、性的傾向、言語、宗教、文化、価値観などに違いがあることを意味しています。正式には、ダイバーシティ（多様性）& インクルージョン（受容/包摂）とされている考え方です。ダイバーシティ・マネジメントとは、多様性がある人々を活かしてグループや組織の力に結び付けていくことです。また、そのためのトレーニングが「ダイバーシティ・トレーニング」であり、組織開発と密接な関連があります。一方、日本でのダイバーシティ推進は、社内での女性活用と捉えられ、実践されている傾向があり、本来のダイバーシティよりも狭い意味で捉えられています。そこで当センターでは、公開講演会として、米国でのダイバーシティへの取り組みについて理解し、ダイバーシティに働きかける手法を学ぶことができるワークショップを企画しました。

当日のワークショップは、以下の流れで行われます。

- ・小講義「ダイバーシティ & インクルージョンとそのトレーニング」
- ・ダイバーシティ・トレーニングの手法とポジティブ・アプローチ
- ・ダイバーシティに関するAIインタビューの体験
- ・グループでの対話と全体でのまとめ



こちらからも
情報を読み取れ
ます。

- 事前予約制：どなたでもご参加いただけます。ワークショップ形式のため定員制となります。
- お問い合わせ：人間関係研究センター事務局 TEL 052 (832) 5002